カルタヘナ法の経過措置が適用され第一種使用等に係る承認がなされたものとみなされる遺伝子組換え農作物一覧 (50 音順) (平成17年11月25日現在)

カルタヘナ法に基づく経過措置により第一種使用等に係る承認がなされたものとみなされる遺伝子組換え農作物は以下のとおり

カルタヘア法に奉り、程週相直により第一程医用サに豚の介配があるこれのことのことのです。この経過措置とは、法施行時(平成16年2月19日)に現に遺伝子組換え生物等の使用がされていたもので平成16年8月18日までに承認の申請がなされた場合は、その後も承認の可否が決定されるまでの間は、当該使用についてカルタヘナ法附則第2条により、法に基づく第一種使用等に係る承認がなされたものとみなすというものです。具体的には、「農林水産分野等における組換え体の利用のための指針」(平成元年4月20日付け農林水産事務次官依命通知)に基づく環境安全性が確認等された使用であって、法施行時に使用されており、第一種使用規程の承認を申請中の場合に適用されます。

種類 •	名 称	経過措置の内容		申請者				
番号		栽培	輸 入 及 び流通					
タ	ダイズ							
1	除草剤グルホシネート耐性ダイズ(A2704-12, OECD UI:ACS-GM005-3)		0	バイエルクロップサイエンス株式会社				
2	高れいか酸ダイズ(260-05, OECD UI: DD-026005-3)		0	デュポン株式会社				
3	除草剤グルホシネート耐性ダイズ(A5547-127, OECD UI: ACS-GM006-4)		0	バイエルクロップサイエンス株式会社				
トウモロコシ								
1	除草剤グリホサート耐性及びコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシ(MON88017, OECD UI: MON-88017-3)	0	0	日本モンサント株式会社				
2	除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ(DLL25, OECD UI:DKB-89790-5)		0	日本モンサント株式会社				
3	fョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ(Btl1, OECD UI: SYN-BT011-1) 【Btl1 及び Btl1 スイートコーン】	0	0	シンジェンタシード株式会社				
4	除草剤グルホシネート耐性及びチョウ目害虫抵抗性トウモロコシ(CBH351)		0	スターリンクロシ゛ステックインコーホ゜レーテット゛ 社				
5	除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ(T14, OECD UI: ACS-ZM002-1)		0	バイエルクロップサイエンス株式会社				
6	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホンネート耐性トウモロコシ)(Event176, OECD UI: SYN-EV176-9)		0	シンジェンタシード株式会社				
7	チョウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ(DBT418, OECD UI: DKB-89614-9)		0	日本モンサント株式会社				
ナタネ								
1	除草剤グルホシネート耐性及び雄性不稔ナタネ (MS8, OECDUI:ACS-BN005-8)		0	バイエルクロップサイエンス株式会社				
2	除草剤グルホシネート耐性ナタネ(T45, OECD UI:ACS-BN008-2)		0	バイエルクロップサイエンス株式会社				
3	除草剤グルホシネート耐性及び稔性回復ナタネ(RF3, OECD UI:ACS-BN003-6)		0	バイエルクロップサイエンス株式会社				
4	除草剤グルホシネート耐性及び雄性不稔及び稔性回復ナタネ(MS8RF3, OECD UI:ACS-BN005-8 × ACS-BN003-6)		0	バイエルクロップサイエンス株式会社				
5	除草剤グリホサート耐性ナタネ(RT73, OECD UI: MON-00073-7)	0	0	日本モンサント株式会社				
6	除草剤グリホサート耐性ナタネ(RT200, OECD UI: MON-89249-2)	0	0	日本モンサント株式会社				
-		t	1					

7	除草剤グルホシネート耐性ナタネ(Topas19/2, OECD UI: ACS-BN007-1) 【HCN92 及び HCN10】		0	パイエルクロップサイエンス株式会社
8	除草剤グルホシネート耐性及び雄性不稔及び稔性回復ナタネ(MS1RF2, OECD UI:ACS-BN004-7 × ACS-BN002-5) 【PGS 2、PHY36 及び PHY23】		0	バイエルクロップサイエンス株式会社
9	除草剤グルホシネート耐性及び雄性不稔及び稔性回復ナタネ)(MS1RF1, OECD UI: ACS-BN004-7 × ACS-BN001-4) 【PGS1、PHY14 及び PHY35】		0	バイエルクロップサイエンス株式会社
10	除草剤プロモキシニル耐性ナタネ(OXY-235,OECD UI:ACS-BN011-5)		0	バイエルクロップサイエンス株式会社
,	パパイヤ			
1	パパイヤリングスポットウイルス抵抗性パパイヤ(55-1)		O (注3)	ハワイパパイヤ協会

注1:名称の()内の「OECD UI」とは、OECD Unique Idetifier のことであり、遺伝子組換え植物の安全性審査の単位として OECD に登録されている識別記号のことです。
注2:名称の()内の「OECD UI」の前に記述している英数字は、開発者による識別番号です。なお、食品衛生法、飼料安全法に基づき食品、飼料の安全性が確認されている複数の案件がカルタへナ法における一つの申請に含まれているものがありますが、この複数の案件は同一の遺伝子組換え系統の兄弟あるいは後代系統の関係にあり、カルタへナ法での申請では1つにまとめられているものです。参考までに、そのような場合には食品衛生法、飼料安全法に基づき安全性が確認された複数の案件の名称を【 】に示しています。
注3:食品衛生法に基づく食品の安全性については審査中です。